

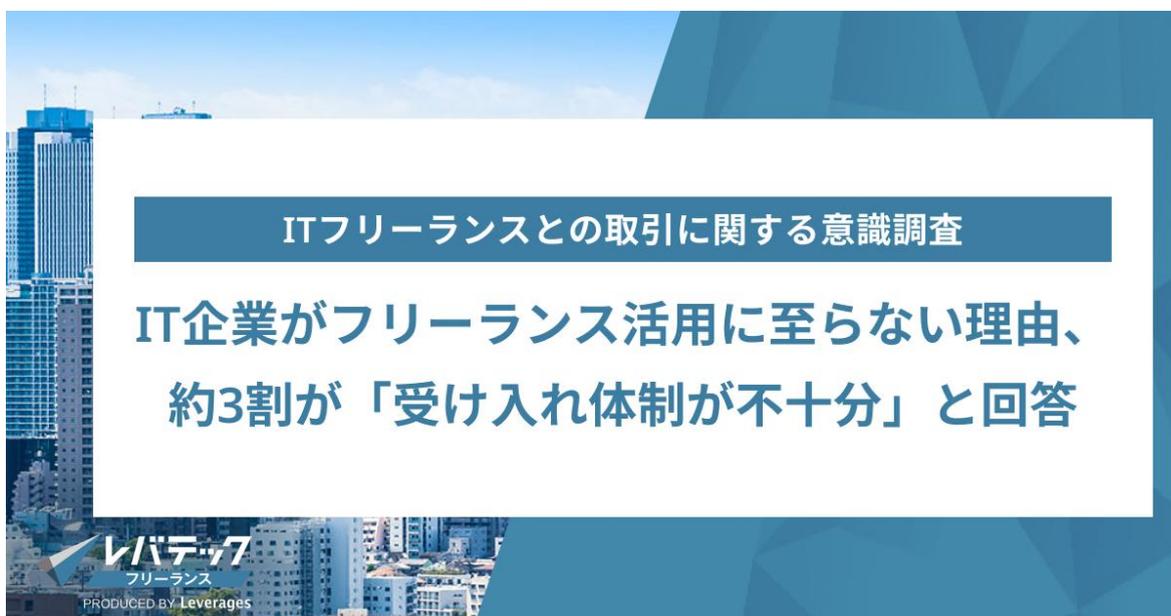


---

## IT企業がフリーランス活用に至らない理由、 約3割が「受け入れ体制が不十分」と回答

---

ITフリーランスとの取引に関する意識調査



レバテック株式会社が運営するITエンジニア・クリエイター専門エージェント、レバテックフリーランス( <https://freelance.levtech.jp/> )は、IT人材の採用・調達に関わる企業担当者を対象に、ITフリーランスとの取引に関する意識調査を実施しました。今回は企業編・ITフリーランス編に分けて発表いたします。

調査の全文はこちらからご覧いただけます。  
(URLを貼る)

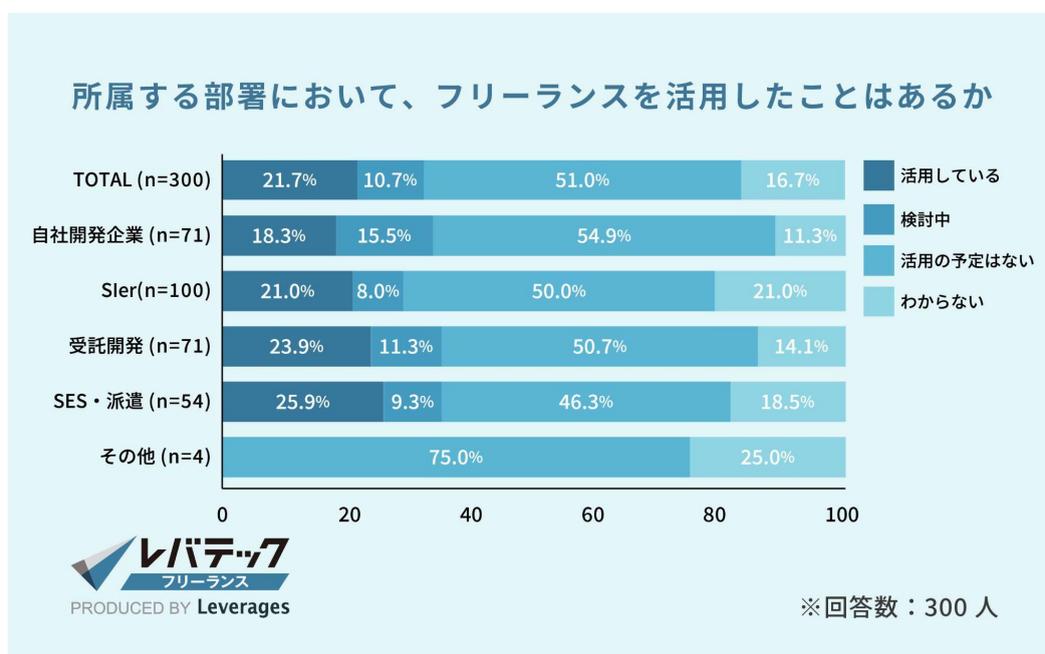
## <調査サマリ>

1. フリーランス活用を検討し始めた理由、1位は「開発リソースの不足」
2. フリーランス活用検討中企業、半数以上が「良い人材が見つからない」と回答
3. フリーランス保護新法案の認知度は約6割

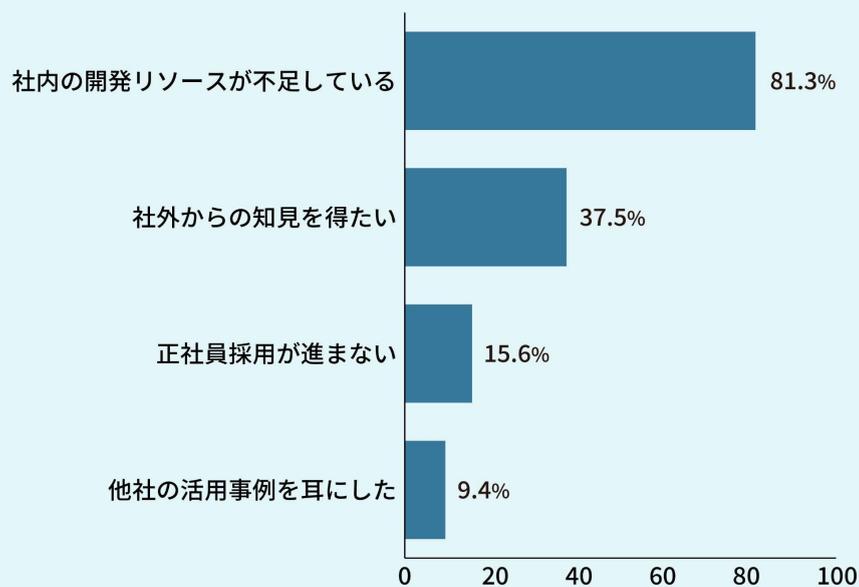
### 1. フリーランス活用を検討し始めた理由、1位は開発リソースの不足

所属部署におけるフリーランス活用に関して、「活用している」と回答した企業は全体の21.7%、「検討中」と回答した企業は全体の10.7%でした。

検討し始めた理由として最も多かったのは、「社内の開発リソースが不足している(81.3%)」となり、社内のIT人材不足を補うための一つの手段として、ITフリーランスの活用を検討している実態が見てとれます。



### フリーランス活用を検討し始めた理由（複数回答）

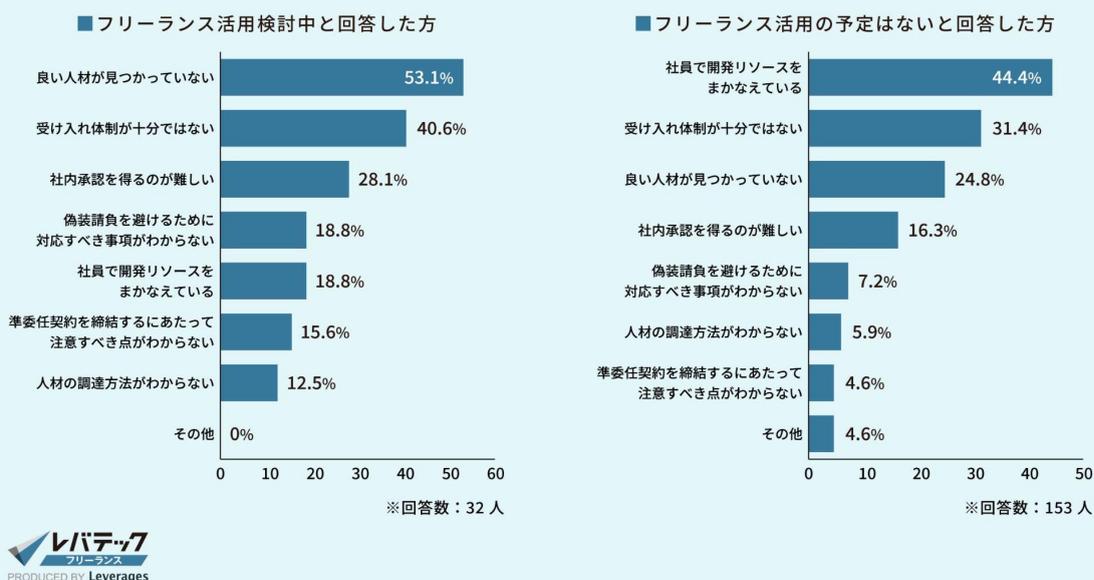


## 2. フリーランス活用検討中企業、半数以上が「良い人材が見つからない」と回答

フリーランス活用を検討しているが活用に至っていない理由では、「良い人材が見つからない(53.1%)」が最多となり、ついで「受け入れ体制が十分ではない(40.6%)」「社内で承認を得るのが難しい(28.1%)」と続きます。

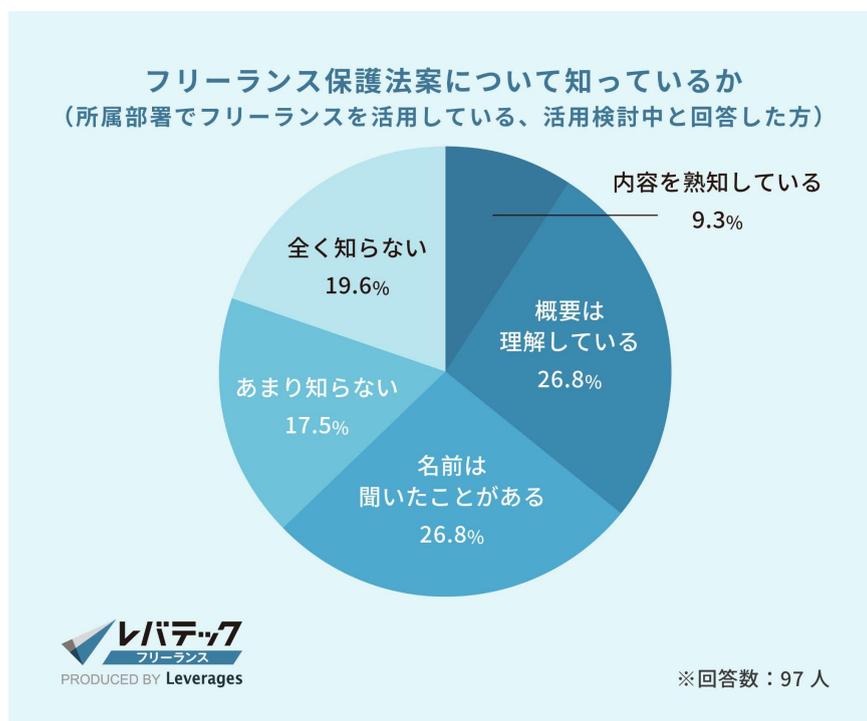
フリーランス活用の検討有無にかかわらず、「受け入れ体制が十分ではない」という回答は上位に上がり、フリーランスの活用に踏み切るにあたっての課題が浮き彫りになりました。

### フリーランス活用に至っていない理由（複数回答）



### 3. フリーランス保護新法案の認知度は約6割

2023年2月24日に閣議決定されたフリーランス保護新法案について、全体の26.8%が「概要は理解している」と回答し、同じく26.8%が「名前は聞いたことがある」と回答しました。

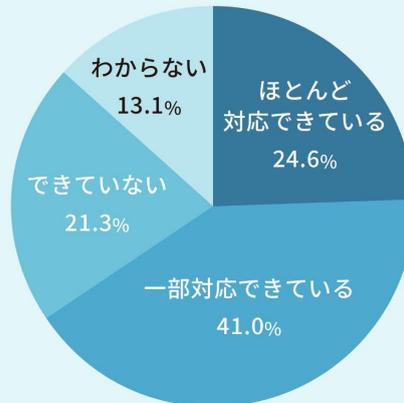


保護法制定に向けた対応に関しては、「一部対応できている(41.0%)」が最も多く、ついで「ほとんど対応できている(24.6%)」と続きます。

一方、対応が進んでいない事柄については、「禁止行為と定められる内容を受けたルール整備(49.2%)」「発注書面の内容の見直し(42.6%)」があげられています。

## フリーランス保護法案制定に向けた対応ができているか

(フリーランス保護法案について内容を熟知している、  
概要は理解している、名前は聞いたことがあると回答した方)

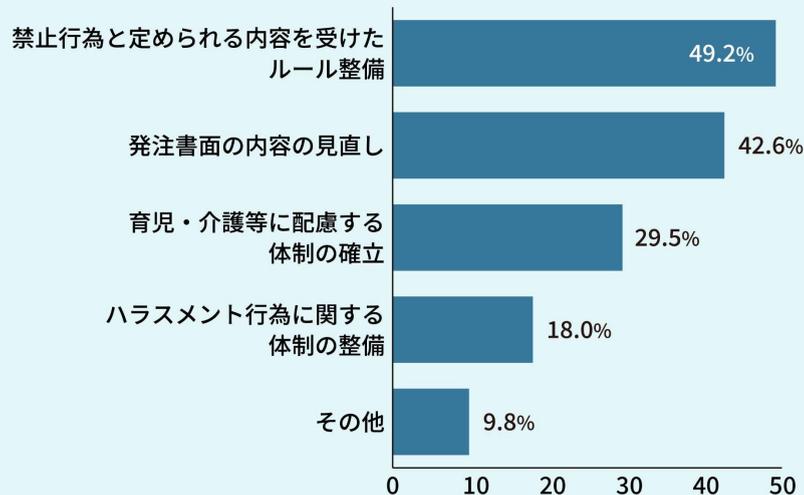


**レバテック**  
フリーランス  
PRODUCED BY Leverages

※回答数：61人

## フリーランス保護法案制定に向けて 対応が進んでいない事柄（複数回答）

(フリーランス保護法案について内容を熟知している、  
概要は理解している、名前は聞いたことがあると回答した方)



**レバテック**  
フリーランス  
PRODUCED BY Leverages

※回答数：61人

## まとめ

近年、政府は雇用関係によらない多様な働き方の促進に向けて法整備を進めています。今後は、フリーランスや副業・兼業などの柔軟な働き方を希望する人材を受け入れる体制を整えることが企業にとっての人材不足解消における重要な課題となるでしょう。

今回の調査では、フリーランスの活用を検討している企業・活用の予定がない企業の約3割が「受け入れ体制の不十分さ」を不安視していることが明らかになりました。

フリーランスの活用は、社内で開発リソースが足りない場合だけでなく、DXや内製化を進める上でも注目されています。国全体でフリーランス活用を促進するためには、法整備により禁止事項を明確にするだけでなく、多様な働き方を受け入れられるよう企業の組織体制整備をサポートする必要がでてきそうです。

#### <調査概要>

調査対象: IT人材の採用・調達に関わる企業担当者

調査年月: 2023年3月13日～14日

調査方法: Webアンケート調査

有効回答数: 300名

調査主体: レバテック株式会社

実査委託先: 楽天インサイト株式会社

レバテック株式会社

レバテック株式会社では、「日本を、IT先進国に」をビジョンに掲げ、「IT人材と企業を増やし、伸ばし、繋げる」ためのプラットフォームの構築を目指しています。現在は業界最大手のITフリーランス専門エージェント「レバテックフリーランス」ほか、IT人材と企業を支援するための様々なサービスを提供。累計登録者は30万人を超えます。



The image shows the Leverage logo and a list of services. The logo consists of a stylized blue and white triangle above the text 'レバテック' and 'PRODUCED BY Leverages'. Below the logo is a dark blue banner with white text: 'フリーランス・派遣・転職を支援するITエンジニア/クリエイター専門サービス'. Underneath the banner are six smaller logos, each with a different colored triangle and text: 'レバテック フリーランス' (blue), 'レバテック クリエイター' (pink), 'レバテック ダイレクト' (orange), 'レバテック キャリア' (red), 'レバテック ルーキー' (green), and 'レバテック カレッジ' (purple).

▽「レバテックフリーランス」フリーランスエンジニア専門エージェント

<https://freelance.levtech.jp/>

▽「レバテッククリエイター」フリーランスクリエイター専門エージェント

<https://creator.levtech.jp/>

▽「レバテックダイレクト」ITエンジニア・クリエイター専門求人サイト

<https://levtech-direct.jp/>

▽「レバテックキャリア」エンジニア/クリエイター専門の転職支援

<https://career.levtech.jp/>

▽「レバテックエキスパート」年収800万円以上のハイクラスエンジニアの転職支援

<https://career.levtech.jp/expert/>

▽「レバテックルーキー」エンジニアに特化した新卒向け就職支援エージェント

<https://rookie.levtech.jp/>

▽「レバテックカレッジ」大学生・大学院生対象エンジニア就活特化のプログラミングスクール

<https://rookie.levtech.jp/college/>

Leverages Group (<https://leverages.jp/>)

本社所在地：東京都渋谷区渋谷2-24-12 渋谷スクランブルスクエア24階 25階

代表取締役：岩槻 知秀

資本金：5,000万円

設立：2005年4月

事業内容：自社メディア事業、人材関連事業、システムエンジニアリング事業、M&Aコンサルティング事業、ASP、SaaS、クラウド関連事業

社会の課題を解決し関係者全員の幸福を追求し続けることをミッションに、インターネットメディア・人材・システムエンジニアリング・M&A・不動産の領域で国や業界をまたいだ問題解決を行なっています。2005年に創業以来、黒字経営を継続し2021年度は年商649億を突破しました。各分野のスペシャリストが集うオールインハウスの組織構成と、業界を絞らないポートフォリオ経営で、時代を代表するグローバル企業を目指します。

---

本リリースに関する報道関係のお問い合わせ  
レバレッジズ株式会社 広報部  
TEL: 03-5774-2900 MAIL: [pr@leverages.jp](mailto:pr@leverages.jp)